

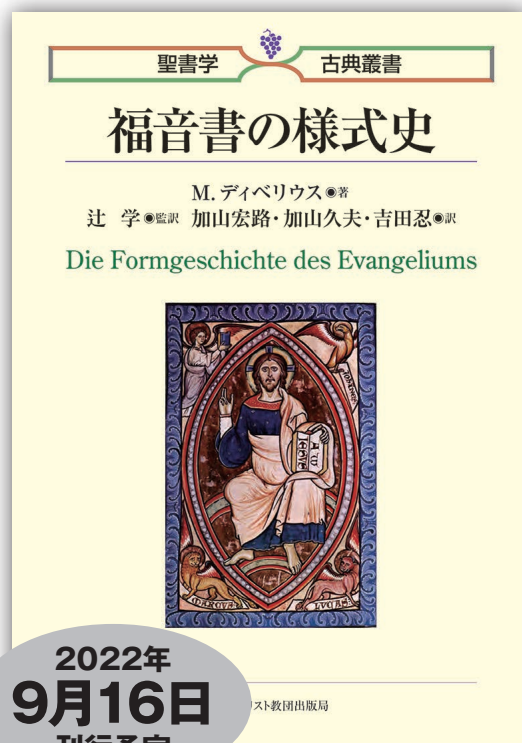
◆2022年9月の新刊

日本キリスト教団出版局

聖書学古典叢書
《第4回配本》

福音書の様式史

今なお引用される、
近現代聖書学における
古典的名著を本邦初訳



M. ディベリウス 著

新約聖書批評学の先駆者。1883年ドレスデン生まれ。R.ブルトマンと共にH.グンケルに師事。セム語研究に

より学位を取得。ベルリン大学講師を経てハイデルベルク大学新約学教授・学長。1947年死去。

辻学 監訳
1964年神戸市に生まれる。関西学院大学大学院神学研究科博士課程前期課程修了（神学修士）、スイス・ベルン大学にてDr. theol.取得。現在、広島大学大学院人間社会科学研究科教授。

加山久夫 訳
1936年大阪市に生まれる。1961年大阪基督教学院卒業、1964年デュブューク神学校卒業、1971年クレアモント大学院卒業。哲学博士。現在、明治学院大学名誉教授。

加山宏路 訳
1930年大阪市に生まれる。1953年大阪基督教学院卒業、1957年アズベリー神学校卒業、1958年プリンストン神学校卒業、1970年同志社大学大学院卒業。梅花大学名誉教授。2013年死去。

吉田忍 訳
岩手県に生まれる。弘前大学人文学部卒業。立教大学大学院文学研究科博士課程後期課程満期退学。農村伝道神学校、無教会研修所、関東神学ゼミナールなどで非常勤講師。

説教、聖伝、語録集、勧告……さまざまな様式で伝承されたイエス・キリストの福音を分類し、それらの素材が教会共同体ごとの「生活の座」を反映した形で蒐集・編纂され、福音書に結実する「様式史」を詳細に分析。新約聖書批評学の礎を築いた古典、初の邦訳。

A5判・上製・390頁・定価9,900円（本体9,000円＋税）

ISBN978-4-8184-0906-4 C3016

シリーズ
好評発売中

『福音書記者マルコ——編集史的考察』定価4,180円 『ガリラヤとエルサレム——復活と顕現の場が示すもの』定価3,300円
『石器時代からキリスト教まで——唯一神教とその歴史的過程』定価6,600円 各 A5判・上製

旧約聖書 歴史書

要約と概説

宮平 望 [著]

A 5判・並製・258頁・本体2,000円（税込定価2,200円）
ISBN 978-4-400-11904-3 C1016

新しい旧約入門シリーズ、第2弾！

旧約聖書の諸文書を章ごとに、ヘブライ語原典に基づいて要約し、新約聖書の視点からメッセージを解説する。創見に満ちた解釈を随所に盛り込み、聖書の学びが楽しくなる。旧約聖書の複雑多様な世界を読み進めるための好個の手引き書。全4冊。

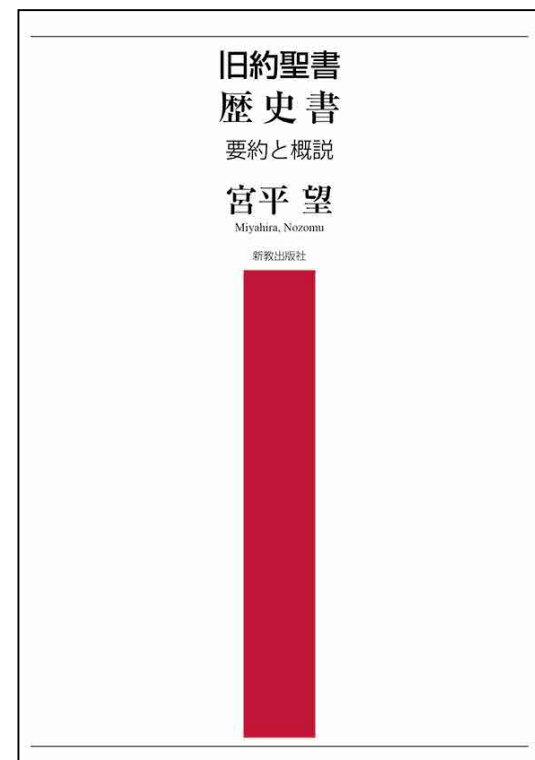
「歴史書」は、ヨシュア記／士師記／ルツ記／サムエル記上／サムエル記下／列王記上／列王記下／歴代誌上／歴代誌下／エズラ記／ネヘミヤ記／エステル記を扱う。

以下の刊行予定（年1冊ずつ）

▶旧約聖書 文学書、▶旧約聖書 預言書【既刊】▶旧約聖書 律法書

宮平 望（みやひら・のぞむ）

1966年生まれ。同志社大学、ハーバード大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学などで学ぶ。現在、西南学院大学国際文化学部教授、神学博士。詳しくは著者のサイト <https://miyahiranozomuhome.wixsite.com/mysite> を参照。



新教出版社・新刊案内 2022年9月9日発売

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 9-1
Tel: 03-3260-6148 / Fax: 03-3260-6198 / Email: eigyo@shinkyo-pb.com

教父学入門

ニカイヤ以前の教父たち

土井健司 [著]

四六判・上製・260頁・本体2,200円（税込定価2,420円）
ISBN 978-4-400-22755-7 C1016

キリスト教の基礎を作った人たち。
その百花繚乱の世界への道案内。

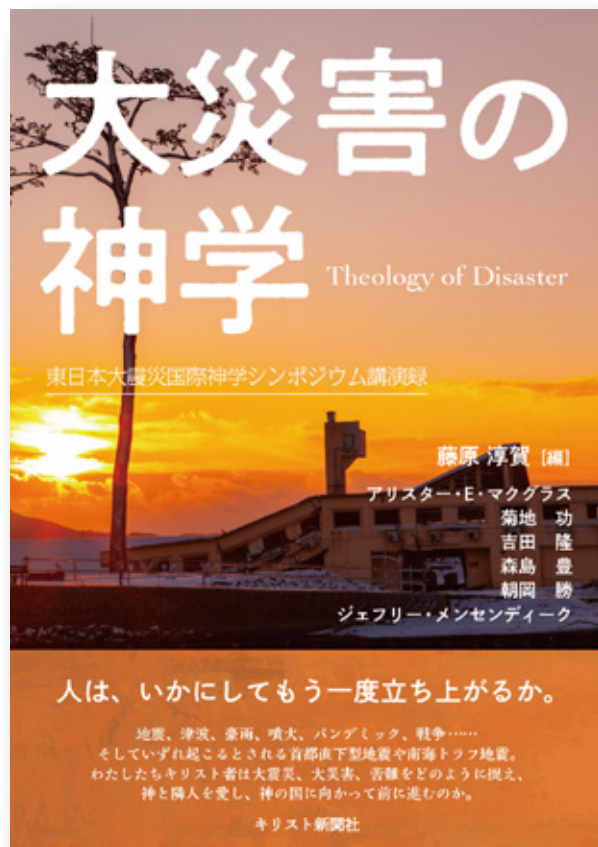
使徒教父、弁証家、アレクサンドリアのクレメンスやオリゲネス、テルトゥリアヌスにキプリアヌス等、また古代文献に表れた女性たちも視野に収めながら、現代のキリスト教の考え方に決定的な影響を及ぼした教父たちの世界へと興味深くいざなう、類書のない貴重な入門書。

土井健司（どい・けんじ）

1962年生まれ。関西学院大学神学部教授、同神学部長。神学博士。関西学院大学神学部、同大学院神学研究科、京都大学大学院文学研究科で学ぶ。著書『神認識とエペクタシス』（1998年、中村元賞）、『キリスト教を問う』（2003年）、『古代キリスト教探訪』（2003年）、『愛と意志と生成の神』（2005年）、『司教と貧者』（2007年）、『キリスト教は戦争好きか』（2012年）、『救貧看護とフィランソロピー』（2016年）ほか多数。

【本書が取り上げる人物と文献】

ローマのクレメンス
アンティオケアのイグナティオス
スミルナのポリュカルポス
『ディダケー』
『ヘルマスの牧者』
弁証家ユスティノス
『ヤコブ原福音書』
『パウロとテクラの行伝』
『ペルペトゥアとフェリキタスの殉教』
エイレナイオス
アンティオケアのテオフィロス
アレクサンドリアのクレメンス
オリゲネス
ヒッポリュトス
テルトゥリアヌス
キプリアヌス
大ディオニュシオス
グレゴリオス・タウマトウルゴス
カイサリアのエウセビオス



Theology of Disaster

大災害の神学

東日本大震災国際神学シンポジウム講演録

藤原 淳賀 [編]

アリスター・E・マクグラス、菊地 功、吉田 隆、
森島 豊、朝岡 勝、ジェフリー・メンセンディーク

人は、いかにしてもう一度立ち上がるか。

わたしたちキリスト者は大震災、大災害、苦難をどのように捉え、
神と隣人を愛し、神の国に向かって前に進むのか。

地震、津波、豪雨、噴火、パンデミック、戦争……そしていずれ起こるとされる首都
直下型地震や南海トラフ地震。

世界的神学者のアリスター・E・マクグラスをはじめ、あの日被災地で奮闘した、日
本のカトリック、改革派、日本基督教団、福音派の第一線で活躍する神学者、牧師た
ちが、あの日の大震災、パンデミック、苦難の意味、そして教会の役割を説き明かす。

目次

<講演1>回復と再生 ― 災害に対するキリスト教的応答の考察―

オックスフォード大学教授 アリスター・E・マクグラス

<講演2>カトリック教会における東北の大震災後の取り組みと、
この2年間の感染症対策

カトリック東京大司教区大司教（前カリタスジャパン責任司教）菊地 功

<講演3>“死の陰の谷”を歩む教会

神戸改革派神学校校長（東北ヘルプ代表）吉田 隆

<講演4>試練と摂理 ― 創世記第22章を手引きにして―

青山学院大学教授 森島 豊

<青年の部1>3.11 から 10 年、そして…

東京キリスト教学園理事長・学園長 朝岡 勝

<青年の部2>震災と信仰 ― 弱いときにこそ強い―

桜美林大学チャプレン・准教授、米国合同教会宣教師

ジェフリー・メンセンディーク

東日本大震災国際神学シンポジウム

2012年3月、震災直後に日本の教会に支援を申し
出てくれた米フラー学校と共に、聖学院大学総合研
究所、東京基督教大学、DRCnet（災害救援キリス
ト者連絡会）の主催で、プロテスタントの主流派と
福音派の壁を越えて始められたシンポジウム。2回
目以降はカトリックも加わり、国、教派を超えて、あ
の大震災を神学していく営みが続けられている。

黙想・日めくりカレンダーシリーズ第2弾

日めくりカレンダー

詩編を祈る31日

今日を生きるための聖書の祈り

旧約聖書に伝わる古の祈り「詩編」。
嘆き、苦悩、願い、感謝、喜び、勇気、希望……。
時代を越えた、人類の魂の叫びがここにある。

旧約聖書学者・小友聡牧師による黙想と新進気鋭の聖画家・井上直氏の油彩画と共に詩編を祈る31日。言葉にできないあなたの心を、詩編の言葉が神に向かって叫ぶ。



〔詩編選定・文〕小友 聡（おとも・さとし）

1956年青森県生まれ。1986年、東京神学大学大学院修士課程修了。1994~99年、ドイツ・ペーテル神学大学留学（神学博士）。現在、東京神学大学教授、日本基督教団中村町教会牧師。著書に『コヘレトの言葉を読もう 「生きよ」と呼びかける書』（日本キリスト教団出版局）、『それでも生きる 旧約聖書「コヘレトの言葉」』（NHK シリーズ NHK こころの時代）など。



〔絵〕井上 直（いのうえ・なお）

1983年京都生まれ。日本基督教団洛北教会会員。2009年より全国の教会を会場に、聖書の御言葉からインスピレーションを受けた油彩画を数多く発表。作品提供として『説教 十字架上の七つの言葉』（平野克己著、キリスト新聞社、装画・挿絵）など。

Yoshioka Hiroko

吉岡容子 [著]

日本聖公会九州教区協力司祭



ヨベル新書 081

少女の命・女性の命、 嵐の中から新たな命

9月20日刊行予定



一羽の雀が撃たれ 地に落ちた時、
「あの方」も共に 地に落ちている。
ああ、それ以外、いかなる神を
私は信じ得よう。

聖書は答えの書ではなく問いの書。疑い、問い、詰め寄り、ぶつかっていく。誰に？
そう、神・あの方に。その時巡り始める新たな命の胎動を 信徒と共に見つめてきた
一司祭の魂の説教、15編。

主な目次

すいせん言葉 青野太潮

最後の審判・解放のとき（降臨節または待降節第1主日）

マリア、エリサベツ至福の祝福（同第2主日）

天に栄光・地に平和（降誕日）

ヤハウエは救い（主イエス命名の日）

神から賜う家族の痛み（降誕後第1主日）

神の摂理、それは退き（同第2主日）

見えざるホスト、その宴（顕現後第1主日）

イエスの侵入・私が私であるために（顕現後第3主日）

神・あの方は足元から（大齋節または四旬節第3主日）

兄・かつ・弟、それが私（同第4主日）

わたしの救い・わたしの罪（枝の主日）

ガリラヤに、ガリラヤに（復活日）

少女の命・女性の命、嵐の中から新たな命（聖霊降臨後の主日）

愛と裁き・それはディレンマ？（諸聖徒日）

謎の問いかけ・イエスの問いかけ（降臨節または待降節前主日）

あとがき

著者略歴：

吉岡容子（よしおか・ひろこ）

1945年生。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。琉球大学講師、福岡女学院中学高校教諭を経て聖公会神学院を卒業。
日本聖公会九州教区のいくつかの教会牧師を経て退職後、九州教区協力司祭。

共訳書：「フェミニスト聖書註解」（日本キリスト教団出版局）

すいせん文：

西南学院大学名誉教授、聖書学者

青野太潮 氏

イエスの「自由」の福音が、思いがけない新鮮な仕方で、しかし聖書学的な知見にしっかりと裏打ちされた形で、生き生きと描かれており、何とも言えない喜びと開放感を味わうことができます。もちろんフェミニスト的な視点も、大切に保持されています。全体にスケールの大きさを感じさせますが、吉岡先生の豊富な読書量も与って力があつたに違いないと思っています。

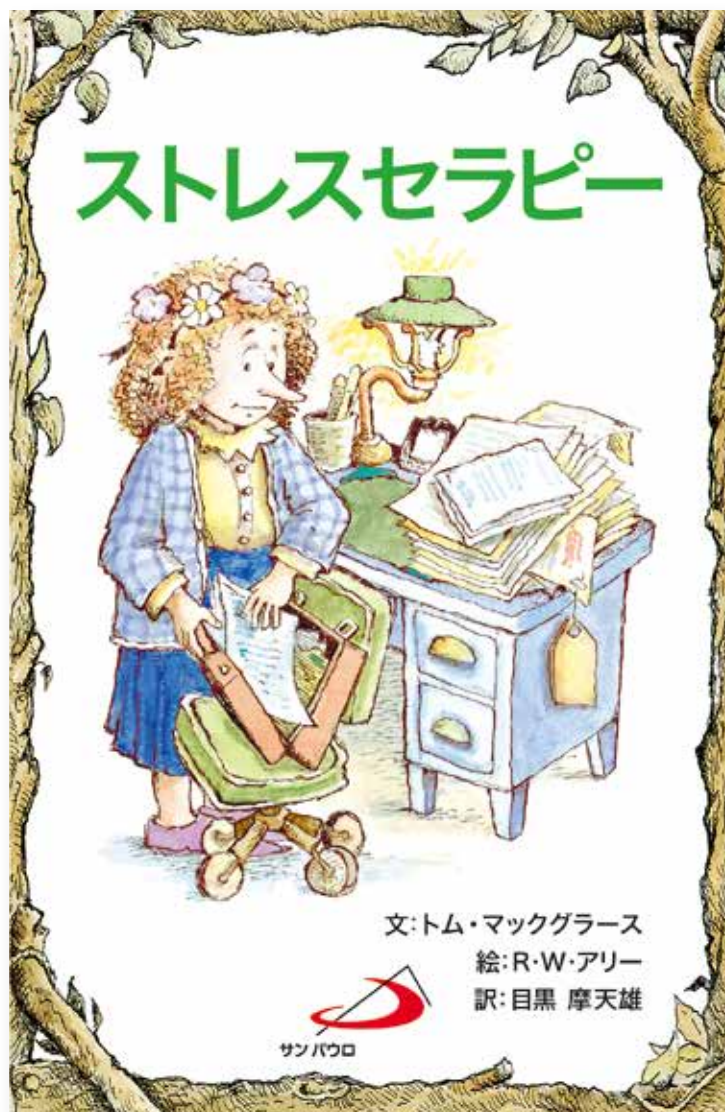
この卓越した説教集が多くの読者を獲得して、一人でも多くの人が、イエスの福音の真髄に迫ることができますように、心から希望し、期待しております。

新書判・192頁・定価1,210円税込

本体1100円＋税 ISBN978-4-909871-78-7 C0216

8月19日(金)発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内



ストレスセラピー

文：トム・マックグラーズ

絵：R・W・アリー 訳：目黒 摩天雄

ストレスとは、日常の中で恐れや好機に直面したときに感じる体と感情の動揺、緊張状態のことです。私たちの体は絶えざる緊張状態には耐えられません。それは慢性的な怒り、欲求不満、頭痛、筋肉の硬直の原因となります。これでは人生のすばらしさに気づけず、人を大切に思うことも困難です。本書は現実的で健全、かつ効果的なストレスに対処するためのコツを提供します。

● 文 トム・マックグラーズ (Tom McGrath)

『U. S. キャソリック』『地の塩』『宗教を家庭に』などの発行元であるクラレチアン出版の編集長。妻キャスリーンと二人の娘ジュディとパティと共にシカゴに住んでいる。

● 翻訳 目黒 摩天雄 (めぐろ まてお)

上智大学で哲学と神学を学び、大阪市立大学で仏文学を研究。大学・短期大学などで講師を務めたのち、聖ベネディクト女子学園（現海星学院）高等学校（室蘭市）校長、賢明学院小学校（堺市）校長、淳心学院聖テレジアこども園（倉吉市）園長を歴任。横浜市戸塚区在住。

●縦150×横100mm ●84頁 ●並製 ●定価 770円（本体700円＋税） ●ISBN978-4-8056-4618-2 C0037

8月19日(金)発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内



元氣はつらつセラピー

文：リンダ・アリソン＝ルイス

絵：R・W・アリー 訳：目黒 摩天雄

病 気や人生の逆境にあって、不安や悲しみに襲われるとき、また多忙な生活の中で押しつぶされそうなき、人は何とかして元気を奮い起こすことが求められます。そんなとき、自分の内面の力に目を留めてください。本書は、自分の真の能力に気づき、自分を養い、問題を乗り越える方法を提示します。

● 文 リンダ・アリソン＝ルイス (Linda Allison-Lewis)

家庭問題や節制について十代の若者に人気のある講演をしている。彼女はまた、「ケンタッキー・リビング」誌に食べ物についてコラムを書いている。3人の子どもがあり、ケンタッキー州のルイスヴィルの自宅で執筆している。

● 翻訳 目黒 摩天雄 (めぐろ まてお)

上智大学で哲学と神学を学び、大阪市立大学で仏文学を研究。大学・短期大学などで講師を務めたのち、聖ベネディクト女子学園（現海星学院）高等学校（室蘭市）校長、賢明学院小学校（堺市）校長、淳心学院聖テレジアこども園（倉吉市）園長を歴任。横浜市戸塚区在住。

9月5日(月) 発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内

クリスマスは イエスさまが うまれたひ

ぶん サリー・アン・ライト え アンジェラ・ジョリフ



ヨセフとマリアは旅をしていましたが、旅の途中で、マリアにあかちゃんが産まれそうでした。でも宿屋はお客さんがいっぱい、二人が泊まれる部屋はありません。宿屋の主人は、二人に動物たちの小屋を貸してくれました。神さまの子、イエスさまは、そこでお生まれになったのです。この絵本は、鮮やかな色使いと、登場人物たちがとてもかわいらしく描かれているのが特徴です。またイエスさま誕生の物語が、聖書に忠実に描かれていますので、子どもたちは大きくなっても、クリスマスの物語を忘れないことでしょう。



9月5日(月) 発売予定

 サンパウロ 新刊案内



どろぼうとこねこの クリスマス

え・ぶん つるみ ゆき



どろぼうと子猫の心温まる不思議な出会いの物語です。教会の入り口の前に5匹の子猫が捨てられていました。4匹は新しい飼い主に引き取られていきましたが、おかしい顔をした1匹の子猫だけは、教会に残ってしまいました。その夜、教会にどろぼうが入りました。ところが神父様に見つかってしまったどろぼうは、なぜか子猫をもらうはめに。子猫と一緒に暮らしていくうちに、どろぼうの心は少しずつ変えられていきます。小さな出会いをとおして変えられたどろぼうは、すてきなクリスマスの子猫と共に迎えます。



重版案内 完成いたしました。

あめんどう

『すべて新たに』 (5刷)

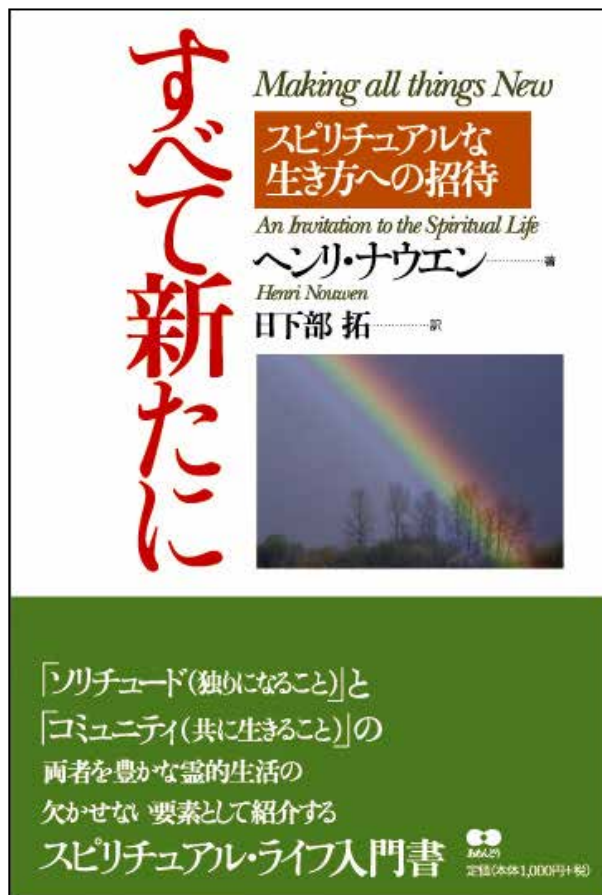
スピリチュアルな生き方への招待

ヘンリ・ナウエン

訳者 日下部 拓 四六判 ペーパーバック 104 頁

定 価 11000 円 (本体 1000 円+税)

ISBN978-4-900677-17-3 C0016



——この二、三年に多くの友人から、「あなたがよく話す、スピリチュアル（霊的）な生き方とは、どういう意味ですか」という質問を、ことあるごとに受けてきました。短時間で読むことができ、かつ霊的な生き方とは何かを説明するだけでなく、「実際にそんな生き方を始めてみたい」と思わせる冊子があっても悪くないと思い、執筆しました。

——私たちは思い煩いでいっぱいの世界で暮らしています。多くのすべきことや心配事で占められ、同時に退屈で、恨みがましく、気が重く、しかもひどい孤独を感じています。このような世界のただ中に、神の御子イエス・キリストが現れ、新しい命、神の霊にある生き方を差し出してくださいました。（本章から）

ナウエンは現代人の心を蝕む三つの感情（「退屈」「恨み」「抑うつ」）に言及し、「何よりもまず神の国」を求めることでそこから自由にされ、御言葉と聖霊に導かれる生き方を説いています。

『詩篇歌集』 『詩篇歌集(小型版)』

日本キリスト改革長老教会 編

詩篇を賛美することがキリスト教会の正当な礼拝のあり方だとしたカルヴァンやノックスの流れを汲む改革長老教会は、詩篇による賛美を復興させる使命を覚え、約60年にわたって取り組みを続けてきた。1972年に最初の『詩篇抄集』が出版されて以来、2度の増補を経て、ついに詩篇150篇すべてを含む歌集が完成。



▲詩篇歌集

A5判 320頁 ビニール装
定価2,200円(本体2,000円+税)
ISBN978-4-264-04376-8 C0016
いのちのことば社卸コード 802091

▲詩篇歌集(小型版)

A6判 320頁 並製三方断
定価1,540円(本体1,400円+税)
ISBN978-4-264-04377-5 C0016
いのちのことば社卸コード 802092

いのちのことば社:発売

月刊「百万人の福音」の
好評連載が一冊に！



方言聖句

津軽弁・大阪弁・沖縄弁 篇

鎌田新、岩橋竜介、国吉守 共著

聖書は聖書でも、慣れ親しんだお国ことばで読めば、よりリアルに自分自身に語られているように響いてくるかも。方言聖句第一弾は、津軽弁、大阪弁、沖縄弁。お国ことばとショートバイブルメッセージ。毎日一つずつ味わうのもおすすめです。

B6判 96頁 定価880円(本体800円+税)
ISBN978-4-264-04368-3 C0016
いのちのことば社 卸コード 18670

ティモシー・ケラーによる集大成



センターチャーチ

バランスのとれた福音中心のミニストリー

ティモシー・ケラー 著

廣橋麻子 訳 篠原基章 監訳

伝統的な神学を犠牲にすることなく文化に適合し、地域に根づいた働きを進め、この街で輝く教会を目指して——福音の本質を掘り下げ、都市の特性と教会の関わりを検証し、ムーブメント展開の可能性を探る重厚な学びの書。ケラー師の牧会と研究の集大成。

A5判 640頁 上製
定価5,940円(本体5,400円+税)
ISBN978-4-264-04342-3 C0016
いのちのことば社 卸コード 8750

ティモシー・ケラー (Timothy Keller)

ペンシルバニア州に生まれ育ち、バックネル大学、ゴードン・コンウェル神学校、ウェストミンスター神学校で教育を受ける。バージニア州ホープウェルの教会で牧会の際、1989年ニューヨークシティで、妻キャシーと3人の息子と、リディーマー長老教会を始める。今日、リディーマーは5,000人以上の日曜礼拝出席者を数え、世界中で250以上の新しい教会設立に協力をしている。著書に Walking with God through Pain and Suffering, Every Good Endeavor, Generous Justice, Jesus the King, The reason for God (以上未邦訳)、『結婚の意味』『偽りの神々』『放蕩する神』『イエスに出会うということ』(以上いのちのことば社)がある。